

Strum

シュトゥルム

第 14 号 平成 24 年 1 月 15 日発行

あけましておめでとうございます。今年は後援会もいよいよ 5 年目に入ります。12 月恒例のリサイタルも 10 回目を迎えることになり、記念の良い年になりそうですね。今年もどうぞよろしくお願いいたします。伊都さんは日本でお正月を過ごし、1 月 29 日のベーリックコンサート後にイギリスに戻られます。



近況報告

新年明けましておめでとうございます。

みなさまの温かい励ましに支えられ、9 回目を迎えた昨年みなとみらいでのリサイタルが無事終わることができましたこと、改めてお礼申し上げます。

今月 29 日、毎年恒例となってきました、横浜山手の洋館で開催されている、山手芸術祭でのオープニングコンサートまで、今年は日本に引き続き滞在をしており、久しぶりに日本でゆっくりとお正月を楽しむことが出来ました。

ヨーロッパでは何よりもクリスマスが一年のうちの最大のイベントで、新年は比較的ひっそりと迎えられるのが一般的ですが、それでもやはり新しい年の始まり、特にウィーンでは、大晦日の年越しをジルヴェスターと呼び、様々な場所で年越しをはさんでジルヴェスターコンサートが行なわれたり、庶民の劇場では、ウィーンでもっとも親しまれているオペレッタ（オペラよりも軽い歌付きコメディ）「こうもり」が上演されるのが恒例となっていたり、またオーストリアの伝統では、年が明けたときにワルツを踊っていると良い年になるという慣習があるらしく、カフェや個人宅また学生寮でも小さなバル（舞踏会）が開催されていたりします。

いまだに素朴な伝統が息づくオーストリア、今年は、昨年引き続き、ロンドンでの活動を広げていきたいと思っていますが、ウィーンとロンドン古い街同士、伝統、慣習を比べてみるのもおもしろいかなと思っています。

【伊都】

第 9 回 加納伊都ヴァイオリンリサイタル

12 月 22 日、クリスマス一色のみなとみらいで今年も多くの皆様とともに伊都さんの演奏を楽しみました。今年はイギリス在住のピアニスト村上明子さんとコンビを組み、12 月の帰国間際までイギリスでコンサートの準備を進めたそうです。伊都さんは煌めく黒のドレスと大人っぽいシルエットのラッキーカラー赤のドレスで登場。後半、現代作曲家ペルトの「フラトレス」ではヴァイオリンの音色の新たなヴァリエーションを聴かせ、またブラームスの「ヴァイオリンソナタ第 3 番」では伊都さんならではの流れるような、そしてドラマチックな演奏に胸が躍りました。アンコールはグノー「アヴェ・マリア」と「きよしこの夜」。クリスマスらしく静かに幕を閉じました。終演後のクリスマス抽選会では、会員の皆様にお立ち寄りいただき、ありがとうございました。





いとちゃんの
クラシック講座

op.14

新年にクラシックといえば、今ではNHKでも中継されるようになった、ウィーンフィルのニューイヤーコンサートが有名です。1月1日の正午、ワルツ王ヨハン・シュトラウスをはじめとしたシュトラウス一家が作曲したワルツやポルカを中心に、華やかな新年の幕開けを告げるコンサートで、国内外のセレブたちも集い、全世界40カ国に生中継されているそうです。心も躍る軽やかで楽しいワルツを、世界で最も美しい音色を持つというウィーンフィルがおしゃれに軽快に演奏する様子は、「会議は踊る」の名言で知られるウィーン会議が開かれた宮廷文化華やかかなりし時代を髣髴とさせ、さぞ伝統ある行事かと思いきや、このコンサートが始まったのは1939年、すでにハプスブルグ帝国は解体し、第二次世界大戦の不吉な足音が聞こえ始めた頃、オーストリアの国名が世界より消え（ナチスドイツに併合された）ウィーンフィルの存亡さえ危ぶまれた、ウィーンフィル史上最も暗い時代といわれた時期に、オーストリアの人々が最も愛したヨハン・シュトラウスの曲を演奏して、祖国オーストリアへの信条を忘れないようにという意味も込められ、生粋のウィーン子であった人気指揮者クレメンス・クラウスの指揮のもと、行なわれるようになったそうです。

オーストリア第2の国歌「美しき青きドナウ」や最後に必ず演奏される「ラデツキー行進曲」、思わず口ずさんでしまうウィーンならではの名曲は、新しい年がまだまっ白で、希望に溢れていることを思い出させてくれます。

【伊都】

横浜山手芸術祭オープニングコンサート

加納伊都ヴァイオリンコンサート

～ヨーロッパからの手紙 Part3～

2012年1月29日（日）5:30pm 開場 6:00 開演

会場 ベーリックホール 横浜市中区山手町 72

参加費 2000 円（飲物付）

今年も山手芸術祭のオープニングを飾ります。

真冬の西洋館に灯る光のようなぬくもりを感じていただけることでしょう。ピアニストは息の合ったペア、近藤紗織さんです。残席数が20席ほどだそうです。お早目どうぞ。

申し込み ベーリックホール

TEL 045 - 663-5685

D V D C l a s s i c C o l l e c t i o n



作品 No.11

「マーラー 君に捧げるアダージョ」

マーラーと妻アルマの愛と真実

2010 年ドイツ / オーストリア



ストーリー 1910 年夏。世界的作曲家で指揮者としても活躍するグスタフ・マーラーは、精神科医ジークムント・フロイトを訪ねる。19 歳年下で美貌と音楽的才能を持ち、クリムトをはじめ当時のウィーンの芸術家達を魅了した最愛の妻アルマが、若い建築家と不倫関係にあることを知った彼は、フロイトに自分の苦しみを打ち明ける。

見どころ 未完の交響曲第 10 番のアダージョは、妻の不倫を知り苦悩するマーラーの心情を表し不協和音が綴られているが、一方、妻へのラブレターと言われる交響曲第 5 番のアダージェットは穏やかで美しい曲。2つのアダージョに秘められた思いを後で聴き比べると興味深かった。

感想

才能がありながら夫に作曲を禁じられ、最愛の娘を亡くし、サナトリウムで不倫相手に出会うアルマ。マーラーを敬愛し、その音楽にすべてを捧げるアルマだが、結局夫の死後は恋人と結ばれたらしい。クララ・シューマンとは対照的？ マーラー生誕 150 年、没後 100 年記念映画。

*DVD は TSUTAYA の店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

編集後記

一年で一番寒い時期を迎えました。伊都さんが日本に居る 1 月の間に親睦会を…と思ったものの、この寒さではちょっと…ね。今年度も親睦会ができず申し訳ありませんが、その分、僅かでもまた被災地に寄付をしてもよろしいでしょうか？ 異国の地で多くのチャリティコンサートに参加した伊都さんの思いを少しでも後押ししたいと思います。 / 話は変わりますが「あの曲どんなメロディーだったか？」と思った時にインターネットはとても便利。若い頃と違い、何度聴いても覚えられない苛立ちもこれで解消。ラジオやレコード、カセットテープだった音楽環境が、あっという間に音質の良い CD、iPod、パソコンに進化したのは感動です。（もちろんデジタルも生演奏にはかないませんが）<ゆ>

発行：加納伊都後援会 T R A U B E N

〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台 15

TEL：045-622-6780

FAX：045-621-6423

Email：itoviolin-kouen@ac.auone-net.jp

Homepage：http://www.ito-vn.jp/